

平成30年度地下水水質測定計画の概要

1 測定地点数

調査区分 測定機関	概況調査	継続監視調査	合計
山形市	10 (10)	8 (12)	18 (22)
山形県	26 (26)	34 (27)	60 (53)
合計	36 (36)	42 (39)	78 (75)

() 内は平成29年度の調査地点数

2 前年度からの変更点

(1) 概況調査

① 測定地点

山形市（水質汚濁防止法政令市）及び最上地域の1市4町2村で実施する。

※ 平成29年度は村山地域で実施。

② 測定項目

周辺の工場・事業場の立地状況を踏まえ、汚染の可能性等を考慮して選定する。

(2) 継続監視調査

- ① 平成29年度概況調査において硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の環境基準超過が確認された次の地点を追加する。

地点名	変更内容	汚染物質名
朝日町大谷	追加	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素

- ② 次の地点の既存井戸が廃止されたことから、暫定的に代替井戸において測定を行い、今後の対応を検討する。

地点名	変更内容	汚染物質名
東根市三日町	調査井戸の変更	テトラクロロエチレン

- ③ 自然由来の汚染で濃度変動が小さい砒素については、4年に1回の測定頻度としているため、平成30年度の測定地点を次のとおりとする。

変更後 (H30)	変更前 (H29)
米沢市成島町、米沢市小野川 鶴岡市宝田、鶴岡市渡前、鶴岡市藤島 酒田市広栄町、南陽市梨郷 高畠町竹森、川西町吉田 三川町押切新田、三川町横山	米沢市信夫町 米沢市笹野本町 南陽市漆山 川西町東大塚 白鷹町荒砥甲

- ④ 5年以上環境基準超過が無いことから、次の地点を廃止する。

地点名	変更内容	汚染物質名
山形市久保田、山形市五日町 山形市下條町、山形市漆山	廃止	テトラクロロエチレン等

概況調査実施状況と平成30年度の実施概要について（県実施分）

1 概況調査の実施状況（平成29年度終了時点）

調査対象地区（全体）	724
調査済地区（全体）	584
未調査地区（全体）	140

$$\text{進捗率（\%）} = \frac{\text{調査済}}{\text{調査対象}} = 81\%$$

2 平成30年度の実施概要

最上地域市町村（1市4町2村）の26地区において調査を行う。

調査対象地区（最上管内）	157	➡	157
調査済地区（最上管内）	124		150
未調査地区（最上管内）	33		7

$$\text{進捗率（\%）} = \frac{\text{調査済}}{\text{調査対象}} = 79\% \quad \text{96\%}$$

※平成30年度の調査により、全体としては、84%になる見込み。

《参考》 平成29年度末時点の実施状況（詳細）

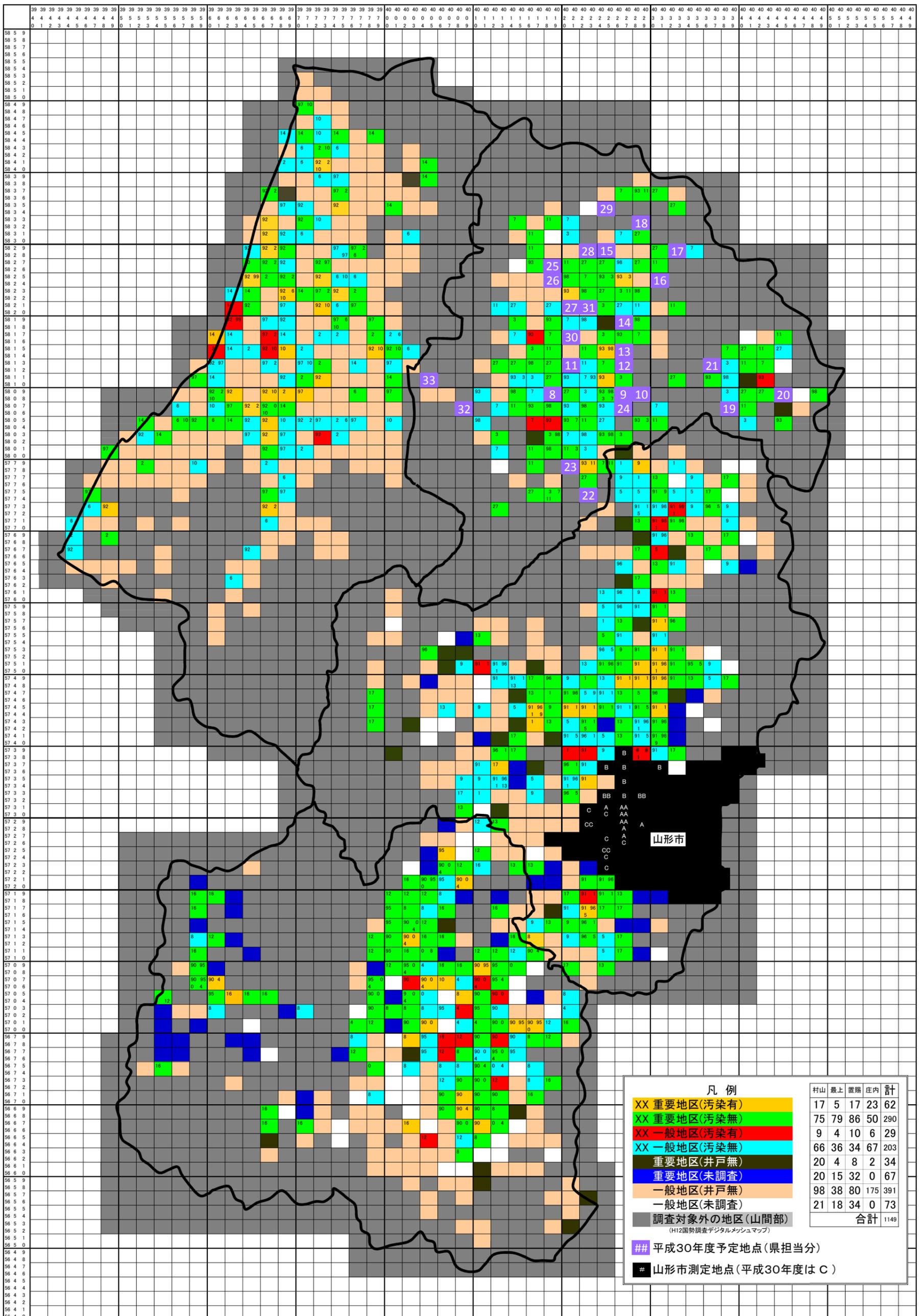
	村山	最上	置賜	庄内	計
① 調査済地区	167	124	147	146	584
重要地区（橙+緑）	92	84	103	73	352
一般地区（赤+水）	75	40	44	73	232
② 未調査地区	41	33	66	0	140
重要地区（青）	20	15	32	0	67
一般地区（白）	21	18	34	0	73
③ 井戸無し地区	118	42	88	177	425
重要地区（茶）	20	4	8	2	34
一般地区（肌）	98	38	80	175	391
④ 地区合計（①+②+③）	326	199	301	323	1,149
重要地区	132	103	143	75	453
一般地区	194	96	158	248	696

$$\text{進捗率（\%）} = \frac{\text{①}}{\text{①+②}} = 80 \quad 79 \quad 69 \quad 100 \quad 81$$

概況調査測定地点地図

(別添1)

3



継続監視調査に係る自然的要因による汚染に係る調査計画

No	測地地点	開始年度	測定頻度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
1	天童市久野本	H4	1回/4年	○				○		
2	村山市楯岡	H4	1回/4年	○				○		
3	鶴岡市宝田	H15	1回/4年			○				○
4	鶴岡市渡前	H10	1回/4年			○				○
5	鶴岡市藤島	H23	1回/4年			○				○
6	酒田市広栄町	H23	1回/4年			○				○
7	三川町押切新田	H10	1回/4年			○				○
8	三川町横山	H23	1回/4年			○				○
9	米沢市木場町	H24	1回/4年	○				○		
10	米沢市信夫町	H24	1回/4年		○				○	
11	米沢市成島町	H24	1回/4年			○				○
12	米沢市万世町	H24	1回/4年				○			
13	米沢市長手	H25	1回/4年	○				○		
14	米沢市笹野本町	H25	1回/4年		○				○	
15	米沢市小野川	H25	1回/4年			○				○
16	南陽市三間通	H3	1回/4年				○			
17	南陽市元中山	H21	1回/4年	○				○		
18	南陽市漆山	H13	1回/4年		○				○	
19	南陽市梨郷	H25	1回/4年			○				○
20	川西町上小松1	H3	1回/4年				○			
21	川西町上小松2	H21	1回/4年	○				○		
22	川西町東大塚	H17	1回/4年		○				○	
23	川西町吉田	H25	1回/4年			○				○
24	川西町堀金	H25	1回/4年				○			
25	白鷹町荒砥甲	H13	1回/4年		○				○	
26	高畠町竹森	H9	1回/4年			○				○
27	高畠町福沢	H3	1回/4年				○			
	測定地点数	27	—	6	5	11	5	6	5	11

平成28年度地下水汚染対策調査結果

1 調査の概要

事業者等が地下水汚染対策を行っている地区において、水質の推移を把握するため継続して調査を行っている。

2 測定項目

各対策地区において汚染が判明している項目及び関連項目を測定した。

3 調査結果

(1) 東根市蟹沢地区

一般井戸4地点、観測井戸7地点の11地点で有機塩素化合物の測定を行った結果、全ての地点で環境基準を達成していた。

汚染判明以降は、緩やかな濃度低下を示していたが、汚染原因者の対策により平成23年度から急激に濃度が低下している。

(2) 東根市東根甲地区

一般井戸2地点で六価クロムの測定を行った結果、全ての地点で環境基準を達成していた。

近年は、おおむね環境基準値以下で推移している。

(3) 東根市神町・天童市川原子地区

一般井戸2地点で硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の測定を行った結果、全ての地点で環境基準を達成していた。

汚染判明以降は、環境基準値超過が続いたが、施肥管理、畜産排せつ物管理、生活排水対策などの対策の効果により、近年は環境基準値以下で推移している。

(4) 米沢市大町・中央地区

一般井戸9地点で有機塩素化合物の測定を行った結果、表-10のとおりテトラクロロエチレンが5地点で環境基準値を超過した。

汚染判明以降は、ほぼ横ばいで推移しており、環境基準値超過の状況が続いている。

表-1 米沢市大町・中央地区の環境基準値超過地点

単位：mg/L

調査地区	項目名	測定結果		環境基準
		平成28年度	平成27年度	
米沢市	川井小路	0.013	0.012	0.01 以下
	大町5	0.027	0.019	
	中央3	0.028	0.020	
	中央5	0.023	0.017	
	春日1	0.042	0.029	

(5) 鶴岡市西郷・酒田市浜中、遊佐町藤崎地区

一般井戸 14 地点で硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の測定を行った結果、表-2 のとおり 6 地点で環境基準値を超過した。

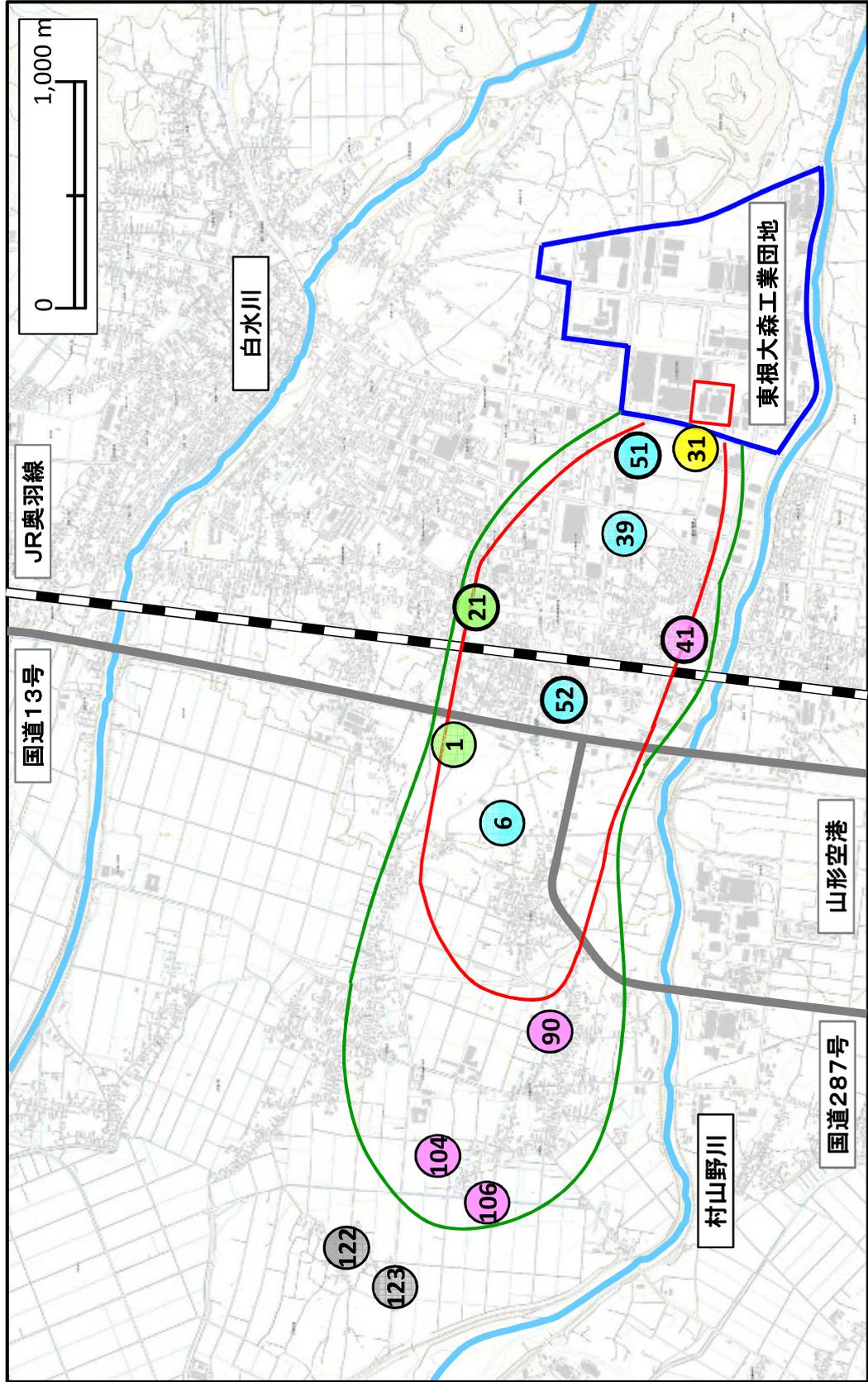
汚染判明以降は、ほぼ横ばいで推移しており、環境基準値超過の状況が続いている。

表-2 鶴岡市西郷・酒田市浜中、遊佐町藤崎地区の環境基準値超過地点

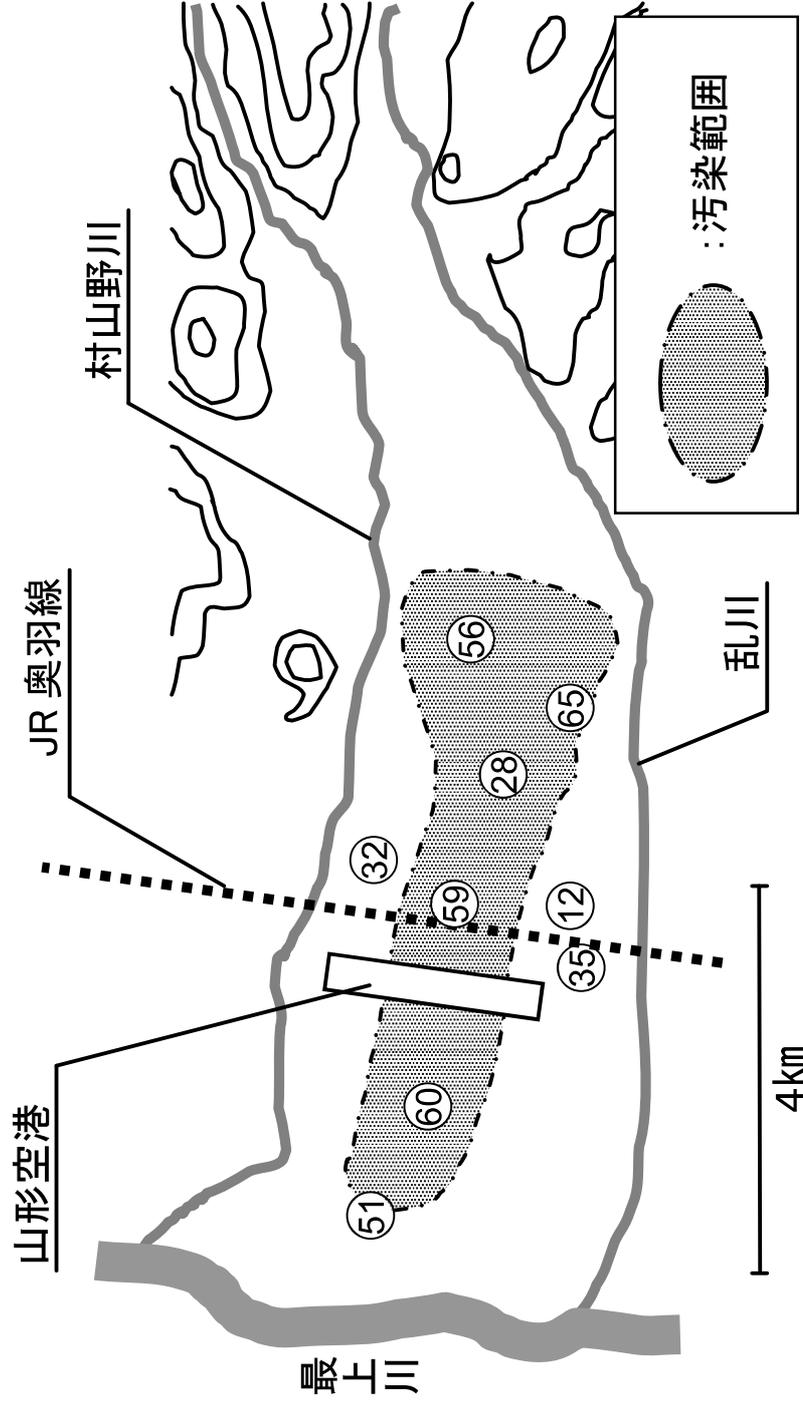
単位：mg/L

調査地区 (地点番号)		項目名	測定結果		環境基準
			平成28年度	平成27年度	
鶴岡市	下川 (鶴-21)	硝酸性窒素 及び 亜硝酸性窒素	16	12	10 以下
酒田市	浜中 (酒-5-2)		15	14	
	浜中 (酒-11)		12	12	
遊佐町	藤崎 (遊-7)		11	10	
	藤崎 (遊-48)		19	19	
	菅里 (遊-68)		11	10	

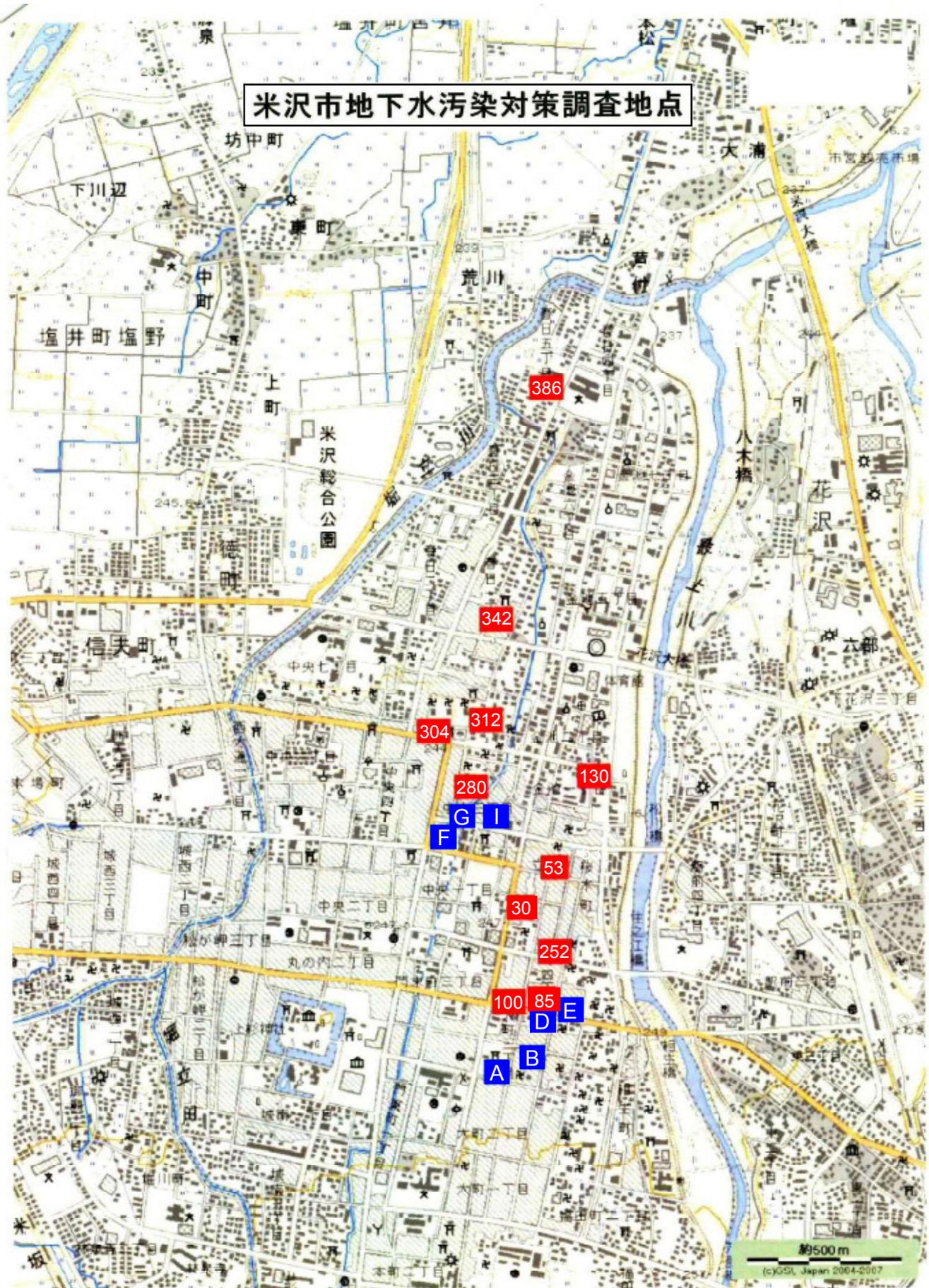
東根市蟹沢地区地下水汚染対策調査地点



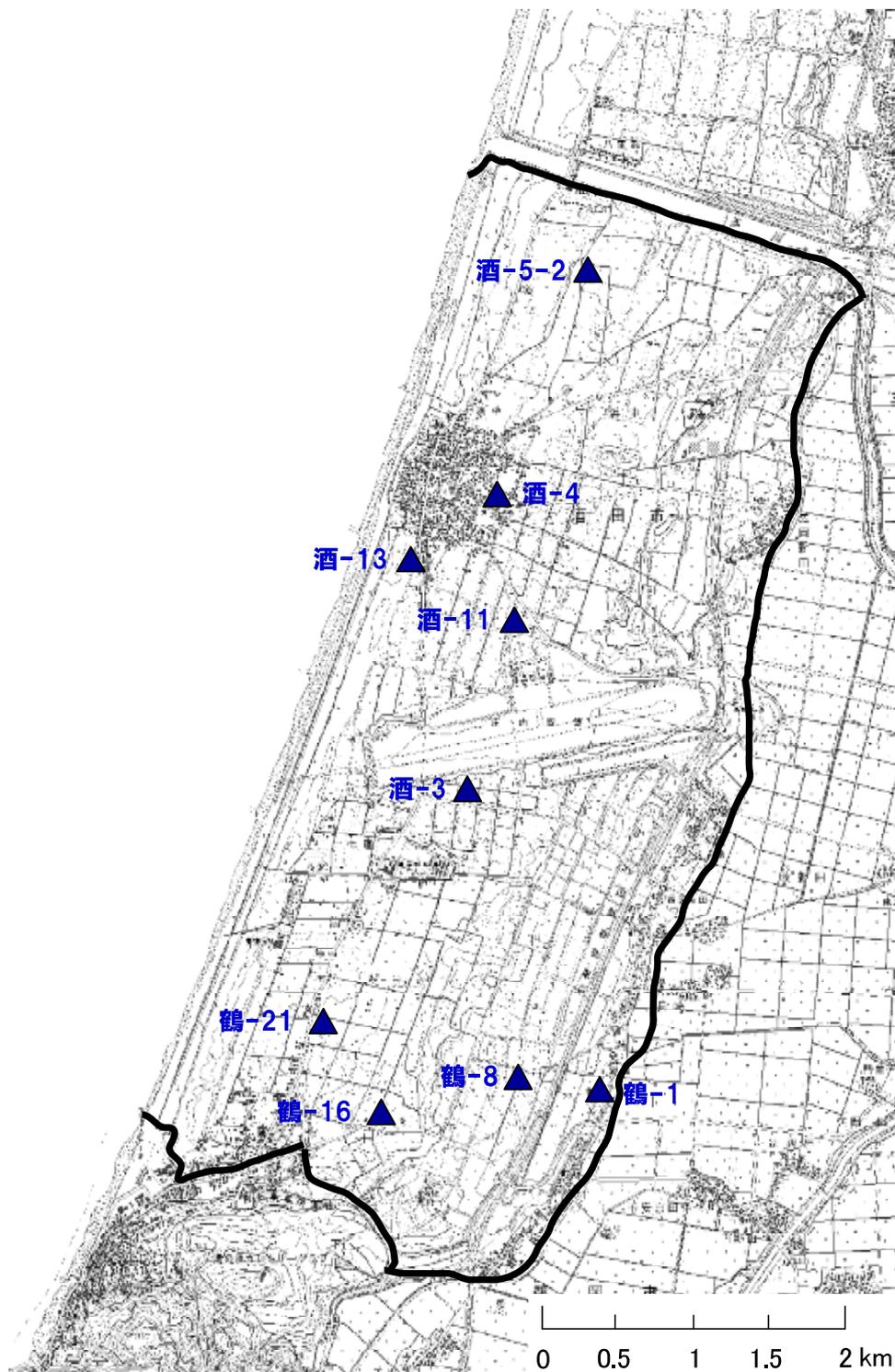
東根市神町・天童市川原子地区 地下水汚染対策調査対象地域及び調査地点



米沢市地下水汚染対策調査地点



酒田市浜中地区・鶴岡市西郷地区



遊佐町藤崎地区

